

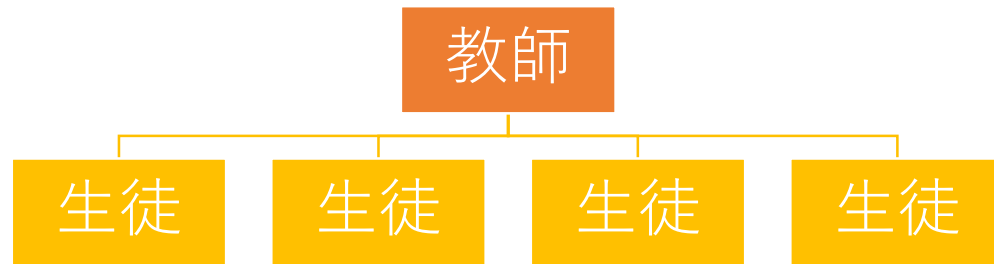
# 伝え合うことの大切さ

玉川大学 教育学部

田甫綾野

# これまでの学校教育

- 一般的に教師から児童・生徒へ知識を教授するという方法で教育が行われている



- 教師から生徒へ正確に知識が伝わる事が重視されていた



# 幼児教育における集団活動

- 絵本の読み聞かせ
- クラスで起きている問題
- これからする活動の説明
- 季節や行事などについて



教師や保育士が伝えたい内容を伝達する場



# 伝え合うことを重視



一斉教授型  
先生から子どもへの伝達



対話型（サークルタイム）  
先生と子どもがある話題について  
共に意見を出し合う



遊びの中での対話  
子どもたちの自発的な相談

# 言葉での伝え合い

- 「言葉で伝える」 = 自分の思いを表現する
- 内容ではなく、「表現したこと」を認める
- うまくできなくても伝えたい思いがあることを認める
- 「伝えたい」と思う環境



# こども基本法

- 1 すべてのこどもは大切にされ、  
基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2 すべてのこどもは、大事に育てられ、  
生活が守られ、愛され、保護される権利が守  
平等に教育を受けられること。
- 3 年齢や発達の程度により、  
自分に直接関係することに意見を言えたり、  
社会のさまざまな活動に参加できること。
- 4 すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、  
意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって  
最もよいことが優先して考えられること。
- 5 子育ては家庭を基本としながら、  
そのサポートが十分に行われ、家庭で育つことが  
難しいこどもも、家庭と同様の環境が確保されること。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、  
喜びを感じられる社会をつくること。

# 家庭での伝え合い

- 子どもの思いに耳を傾ける
- 子どもの意見を聞く、親の思いを伝える  
(子どもには分からない・・・ということはない)
- 伝えることから聞くことに

